

二子玉川郷土史会・新春吉例〈落語会〉
落語「井戸の茶碗」とマジックでお楽しみ!

二子玉川郷土史会では、アマチュア落語家として活動中の〈露月亭恋サ馬(せたが家志ん金改め)〉さんに毎年正月に落語を一席お願いしています。「大山詣り(上・下)」「御神酒徳利」「藪入り」に続き、令和最初の新春にお届けするのは、人情噺「井戸の茶碗」。二人の武家と、間を行ったり来たり、屑屋が繰り広げるひと騒動。とにかく登場人物の全てが正直者という、正月にぴったりの実にはすがすがしい噺です。今年は、世界各地のコンテストで受賞経験をもつマジシャン〈六本木つよ志〉さんも登場する、スペシャルプログラムでお届けします。

ぜひ新年のひとときを、落語とマジックでお楽しみ下さい。多数の参加をお待ちしています。

出演：露月亭恋サ馬 / 六本木つよ志(マジック)

演目：「井戸の茶碗」 = 正直者の屑屋・清兵衛(せいべい)が裏長屋に住む桶鉄齋(くすのきてっさい)という浪人から仏像を買わされる。それが細川家の家来・高木佐久左衛門(さくざえもん)の目に留まって売れるが、胎内から小判五十両が出てくる。互いに「その金は受け取れない」と言い出すから、間に入った清兵衛は困り果てる。ついには、天下の名器や殿様まで登場し……。さてこの騒動、どうやって収まるのかは、聴いての楽しみ。もちろん、ハッピーエンドです!

〔露月亭恋サ馬(ろげつてい・れんさま)〕 本名・濑井和夫。世田谷信用金庫常勤顧問。慶應義塾大学落語研究会出身。平成 21 年、「世田谷信用金庫落語研究会」を結成、顧問に就任し、後進の指導にあたる。年2回、下北沢「北沢タウンホール」を拠点に定期落語発表会を開催し、社会人アマチュア落語家として幅広く活動している。古典落語の格調を継承する本格派。当会にて、「大山詣り(上)」を新作として披露した。令和元年、〈せたが家志ん金〉の名跡を二代目に譲り、〈露月亭恋サ馬〉を襲名した。同年、世田信落語研究会は、全国信用金庫協会より「社会貢献賞(個人賞)」を受賞している。



〔六本木つよ志(ろっぽんぎ・つよし)〕 本名・大江毅。世田谷信用金庫勤務。学生マジック選手権グランプリをはじめ、ICM コンベンション・ステージコンテスト・グランプリなど、内外のコンテストで数々の受賞歴を誇る。手品のオリンピックと言われる「FISM2012」の日本代表に選出。海外のコンベンション等への出演依頼も多い。令和元年、「世田谷信用金庫落語研究会」の会長に就任。

日時：2020(令和2)年1月25日(土) 午後4時開演

午後3時40分開場 5時終演予定

会場：玉川町会会館 玉川2丁目2-1

ベースモール2階(右図ご参照)

会費 無料 定員 80席 (椅子席)

申込 1月23日(木)までに、下記によりお申込みを。

※先着順で受付、定員になり次第、締め切らせていただきます(参加不可のみご連絡)。



二子玉川郷土史会 事務局

二子玉川郷土史会・新春落語会『井戸の茶碗』参加申込書

〈送付先〉Eメール>mikio.sasaki3223@gmail.com(事務局長・佐々木宛) FAX>03-3709-4679

氏名: _____ 住所:〒 _____

連絡先: ☎> _____ またはメールアドレス> _____ @ _____

※上記は当会行事に関連するお知らせや催事案内に使わせていただきます。ご住所はよろしければご記入ください。